



■商学部4年 川村ゼミ
高橋 佑季

このたび、私は2011年度公認会計士試験に合格することができました。そこで、私の試験勉強とその間の大学生活に書かせていただきます。皆さんの試験勉強の一助になれば幸いです。

私が会計士を目指した理由は、ただ単に会計が好きだったからです。きっかけは、大学1年の時に受けた簿記の講義でした。その講義で簿記の面白さに気づき、その延長線にある会計士を目指そうかと思いました。今思うと単純な理由かもしれませんが、その選択は間違っていなかったと思います。

会計士の勉強を始めたころは、まだ本気で会計士の勉強をしようとは考えておらず、バイトやサークル中心の生活を送っていました。し

かし、一回目の短答式試験に失敗し、そこでようやく自分の考えが甘いということに気づき、その後は本気で勉強するようになりました。基本的には予備校のカリキュラムに遅れないように勉強することを心掛け、答練(確認テスト)を時間通りに受けるようにしました。特に苦手科目は遅れないように気をつけていました。また、大学の講義も会計中心で取っていたため、そこから得る知識も活用できました。一方で1年の時からバイトとサークルは続けていたため、勉強するときとしないときでメリハリをつけるようにしました。

また、会計士を目指す人にはゼミに入るかどうか悩んでいる人もいます。私も2年の時は入るかどうか悩んでいました。しかし、結果から言いますとゼミには入った方がいいと思います。なぜなら、会計のゼミだと会計士志望の人もいて刺激を受けることができますし、ゼミで扱う内容が試験に出ることがあるからです。私の場合は、論文式試験の会計学におい



試験勉強中に読み込んだテキスト

てゼミで扱った内容が出てきてとても助かりました。ゼミで扱う内容は試験勉強とは違い自分で考えることが多いため、予備校の勉強とは違った面白さがあり、いい気分転換になると思います。

皆さんも知っていると思いますが、最近では監査法人も内定者数を減らす傾向にあり、合格者の半数は監査法人に入れない状態です。しかし、会計士は会計の専門的な知識をもっているため社会に求められる人材です。現在、会計士を目指して勉強している人の多くは監査法人に入ることを考えていると思いますが、その考えに固執せずに自分が将来何をやりたいのかを考えてみてください。皆さんの努力が報われて試験に合格し、有意義な大学生活を送れることを切に祈っています。

公認会計士試験合格体験記



■商学部4年 辻山ゼミ
佐久間 亮

私は2011年度の公認会計士試験に合格しました。

私が公認会計士を志した理由は、大学で何か大きな目標を成し遂げたいと考えたからです。私は大学入学前から公認会計士

を志していた訳ではありません。推薦入試で大学に入学したため、大学入学後に大学では大きな目標に挑戦することで自分の実力を試してみたいと思い、難関資格を取得したいと考えようになりました。しかし、難関資格にいきなり挑戦するのは抵抗があったため、まず、学部の授業にも関連し、以前から興味があった簿記を学んでみようと思い、簿記検定を取得するために友人と一緒に授業とは別に大学が主催する簿記講座を受講することにしました。そして、その簿記講座で公認会計士の講師の方にお話を伺ううちに、ビジネスについて詳しく学べ、資格取得後ビジネスの

幅広い分野でその資格を活かしていくことができる公認会計士にとても魅力を感じたため、日商簿記検定2級合格後、大学1年生の11月頃に公認会計士試験に挑戦することを決意しました。

公認会計士試験を受けるとなると、多くの人が大学とは別に専門学校に通うため、大学の授業と公認会計士試験の勉強との両立が困難になると一般的には思われるかもしれませんが、私は専門学校が大学の近くにあったため、大学の授業の空いた時間に専門学校に行って勉強するなどして、時間を効率よく有効に利用していました。また、大学の授業には公認会計士試験の勉強に近い授業も多いため、大学の授業で公認会計士試験の勉強を先取りし、逆に公認会計士試験の勉強の復習として大学の授業を受講していました。そのため、私は大学の授業との両立を上手く行うことができました。近年の公認会計士試験には専門学校では学習していない大学の授業で学習したことが出題されることがあるため、大学の授業も真剣に受講することで公認会計士試験の勉強にプラスになると思います。

公認会計士を目指す方は大学のゼミに所属するかどうか迷うかもしれません。公認会計士試験合格を目指す方の中にはゼミに所属しない方もおり、私もゼミに所属するかどうかとても迷いましたが、今考えるとゼミに入ったことは私にとってプラスでした。私は学部では現代財務会計論のゼミに所属しております。私のゼミには同じ公認会計士試験合格を目指す仲間が多くおり、そのような志の高い仲間と共に切磋琢磨することで刺激を受けました。また、ゼミの仲間との繋がりは、私にとってかけがえのない財産だと考えています。人によって考え方は様々だと思われますが、私は公認会計士試験を目指す人にも大学のゼミに入ることをお勧めします。

大学4年間は長いように感じるかもしれませんが、今考えてみるとあっという間でした。比較的自由な時間が取れる大学生活で公認会計士に限らず、何か自分で立てた目標に挑戦することで得られるものは非常に大きいです。是非、限りある大学時代の時間を有効に使うことで、皆さんの大学生活が有意義になることを心から願っております。

※学年は執筆時点の学年です